

平成20年度 病害虫発生予察情報

発生予報第9号（8月後半～9月前半）

平成20年8月19日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量			
普通作物	イネ	穂いもち	やや少ない			
		紋枯病	やや少ない			
		白葉枯病	やや少ない			
		ツマグロヨコバイ	平年並～やや多い			
		セジロウンカ	やや少ない			
		トビイロウンカ	やや少ない			
		コブノメイガ	やや少ない			
		斑点米カメムシ類	多い（※注意報）			
		果樹	ダイズ	ハスモンヨトウ	やや少ない	
				ナシ	黒斑病	少ない
					シンクイムシ類	やや多い
		カキ	カキ	ハダニ類	平年並	
				カメムシ類	平年並～やや多い	
うどんこ病	やや少ない					
カキミガ	平年並					
カメムシ類	平年並～やや多い					

中国地方1か月予報（8月16日～9月15日・広島地方気象台8月15日発表）

<予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に晴れの日が多い見込みです。向こう1か月の気温は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

気温	10%	40%	50%
降水量	30%	30%	30%
日照時間	30%	30%	30%

低い（少ない）
 平年並
 高い（多い）

A. 普通作物果樹

1) イネ

(1) 穂いもち

予報内容

発生地方

全域

発生量

やや少ない

予報の根拠

①初発生は8月12日で、平年に比べて遅い。

②伝染源となる葉いもちの全般の発生量は平年に比べてやや少ない。

③向こう1ヶ月の気象は本病の発生を助長する要因とはならない。

(2) 紋枯病

予報内容

発生地方

全域

発生量

やや少ない

予報の根拠

①全般の発生量は平年に比べてやや少ない。

②向こう1ヶ月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) 白葉枯病

予報内容

- 発生地方 常習発生地
発生量 やや少ない
- 予報の根拠
①全般の発生量は平年に比べてやや少ない。
②5月以降の積算降水量は平年に比べてやや少ない。
③向こう1ヶ月の気象は本病の発生を助長する要因とはならない。
- (4) ツマグロヨコバイ
- 予報内容
発生地方 県下全域
発生量 平年並～やや多い
- 予報の根拠
①8月上旬の巡回調査では発生量は平年並みである。
②予察灯への飛来量は平年並みである。
③向こう1ヶ月の気象は本種の発生に助長的である。
- (5) セジロウンカ
- 予報内容
発生地方 県下全域
発生量 やや少ない
- 予報の根拠
①予察灯への初飛来は、出雲市で6月18～19、7月3～5日に認められた。
予察灯への飛来量は平年に比べて少ない。
②8月上旬の巡回調査では発生量は平年に比べてやや少ない。
- (6) トビイロウンカ
- 予報内容
発生地方 県下全域
発生量 やや少ない
- 予報の根拠
①予察灯、粘着誘殺灯への飛来量は平年に比べて少ない。
②8月上旬の巡回調査では発生量は平年に比べて少ない。
③向こう1ヶ月の気象は本種の発生にやや助長的である。
- (7) コブノメイガ
- 予報内容
発生地方 県下全域
発生量 やや少ない
- 予報の根拠
①予察灯、粘着誘殺灯への飛来は平年に比べて少ない。
②8月上旬の巡回調査では発生量は平年に比べてやや少ない。
③向こう1ヶ月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。
- (8) 斑点米カメムシ類

※ 斑点米カメムシ注意報(7月30日) 発令中

- 予報内容
発生地方 県下全域
発生量 多い
- 予報の根拠
①圃場ですくい取り調査では発生圃場率、捕獲頭数ともに平年に比べてやや多い。
②予察灯でのアカスジカスミカメの誘引数は平年に比べて多い。
③向こう1ヶ月の気象は本種の発生に助長的である。

2) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

- 予報内容
発生地方 全域
発生量 やや少ない
- 予報の根拠
①フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺累積数は出雲市で平年比9.6%、益田市で46.1%と少ない。
②8月中旬のダイズ圃場調査で発生を確認したが、発生量は少ない。
③向こう1ヶ月の気象は本種の発生にやや助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方

ナシ(二十世紀)栽培地帯

発生量

少ない

予報の根拠

① 7月28日の巡回調査では、発病葉率は7.3%(平年17.0%)であり、平年と比べて少ない。

② 向こう1ヶ月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) シンクイムシ類

予報内容

発生地方

ナシ栽培地帯

発生時期

やや遅い

発生量

やや多い

予報の根拠

① 予察圃場(安来市・出雲市)のフェロモントラップでのナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺盛期はやや遅く、誘殺数はやや多い。

② 向こう1ヶ月の気象は発生を特に抑制する要因とはならない。

(3) ハダニ類

予報内容

発生地方

ナシ栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

① 巡回調査では、寄生葉率、寄生虫数とも平年並みである。

② 向こう1ヶ月の気象は発生を特に助長する要因とはならない。

(4) カメムシ類

予報内容

発生地方

ナシ栽培地帯

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① 予察圃場(出雲市)予察灯でのカメムシ類の誘殺数は平年並みである。

② 向こう1ヶ月の気象はカメムシ類の発生にやや助長的である。

2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方

カキ栽培地帯

発生量

やや少ない

予報の根拠

① 7月31日の巡回調査では、発病葉率は1.3%(平年8.6%)であり、平年と比べてやや少ない。

② 向こう1ヶ月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) カキミガ(第2世代)

予報内容

発生地方

カキ栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

① 第1世代幼虫による芽および果実の被害は平年並みであった。

② 向こう1ヶ月の気象は発生を特に助長する要因とはならない。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方

カキ栽培地帯

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① 予察圃場(出雲市)予察灯でのカメムシ類の誘殺数は平年並みである。

② 向こう1ヶ月の気象はカメムシ類の発生にやや助長的である。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/shimane/>